



“かめやま文化年”イメージキャラクターについて

本年1月に亀山市のホームページや市広報などで公募しました「かめやま文化年」イメージキャラクターを決定しました。全国から464点の作品をご応募いただき、心からの感謝を申し上げます。

3月11日に、名古屋造形大学 ^{いとう とよつぐ}伊藤 豊嗣教授を委員長としたかめやま文化年イメージキャラクター選定委員会による審査の結果、最優秀作品は「カメのぶんちゃん」に決定しました。この作品は、広島県甘日市市 ^{ほりえゆたか}の堀江 豊さん（63歳）がお考え頂いたもので、亀山市の「亀」をモチーフに、甲羅の中に、芸術・食・自然・伝統・スポーツ・歴史など、いろいろな本市の文化が詰まっていることを表現して頂いたようです。

また、優秀作品として、「こちょ姫」をお考え頂いたのは、亀山市 ^{ひろもりまなみ} 廣森真菜実さん（29歳）、同じく優秀作品「ハッピーかめやまくん」は、鈴鹿市 ^{こぼやしちやこ} 小林智耶子さん（小学4年生）です。

今後において、最優秀作品の「カメのぶんちゃん」を、かめやま文化年イメージキャラクターとして、ポスターやチラシ等印刷物に使用するほか、缶バッジ等も作り、平成26年度の“かめやま文化年”の機運を一層高めて参りたいと考えています。